



みずどう

確かな学力、豊かな心、健やかな身体のバランスのとれた子どもの育成をめざす

令和5年6月号
尼崎市立水堂小学校
尼崎市立水堂町1丁目32-8
TEL(06)6437-3804
<http://www.ama-net.ed.jp/school/E30/index.htm>

当たり前のことを

先日、休日に家族で旅行をしました。旅行先で日本の伝統文化に触れ、日本っていいところだと改めて感じました。旅行先で見かけた神社の鳥居に「凡事徹底」とおおきな垂れ幕のようなものが飾ってありました。「凡事徹底」とは当たり前のことを当たり前のようにしようという意味です。

さて、当たり前のことと言っても、日本だけで当たり前なことはたくさんあります。日本人が当たり前と思っていることは、実は海外から来た方々から見ると、日本のすばらしさであったりします。

「チップの習慣がない」海外旅行に行くとチップどうしたらいいのかと悩むぐらい、日本ではその習慣がありません。昔は、家族旅行に行ったときに、祖母が旅館の仲居さんによろしくお願ひしますといくらか渡しているのを見たりしましたが、それも今ではないように思えます。日本はチップがなくてもすばらしい接客をしてくれます。

「自動販売機がいたるところにある」街をちょっと歩けば必ず自動販売機に出会います。これから暑くなる季節で、自動販売機の需要は高まるのではないのでしょうか。最近では、飲み物だけではなく、ラーメンや餃子などの自動販売機、1000円自販機なんかも有名になりました。

「学校は子どもたち自身で掃除をする」日本ではほぼ当たり前にある、掃除の時間。海外では業者に委託というところも多いようです。なぜ、日本では学校で掃除をするのでしょうか。所説あると思いますが、日本には元々、「場を清める」という考えがあり、掃除は、場所を清め浄化すると共に心の中も清め浄化するとされてきました。キレイな場所だと何かするときにやる気になりませんか。本校の「めざす子ども像」に「場を清める」とあるのには、このような意味合いがあります。また、本校では縦割り掃除をしています。1年生から6年生までが一緒になって担当の場所を掃除します。この活動を通して、高学年のリーダー性、下級生に対する思いやり、低学年の上級生に対する感謝や信頼の気持ちを育てたいと考えています。

「凡事徹底」は学校生活だけではなく、私たちの生活に欠かせないものだと思います。学校では「凡事徹底」に努めて参りますので、ご家庭におかれましても当たり前のことを大切にしていこう声掛けをしていただければ幸いです。

【6月の行事予定】



日	曜日	項 目
1	木	5年歯科検診 (13:15~) 定時退勤日、児童集会
2	金	
3	土	
4	日	
5	月	朝会、クラブ活動
6	火	
7	水	6年 5・6時間目なし 1年歯科検診 (13:30~)
8	木	6年修学旅行、定時退勤日
9	金	6年修学旅行
10	土	
11	日	
12	月	生活点検週間 (16日まで) 諸費振替日
13	火	6年歯科検診 (13:30~)
14	水	2年歯科検診 (13:30~)
15	木	定時退勤日

16	金	3年環境体験学習 (伊丹市昆虫館) スクールカウンセラー来校日 4年歯科検診 (13:30~)
17	土	オープンスクール (月曜校時) 引き渡し訓練 (12:00~)
18	日	創立記念日
19	月	代休日
20	火	尿検査再検日、水泳開始
21	水	
22	木	計算検定、定時退勤日
23	金	5年 5・6時間目なし
24	土	
25	日	
26	月	5年自然学校
27	火	5年自然学校
28	水	5年自然学校
29	木	5年自然学校、定時退勤日 3年歯科検診 (13:15~)
30	金	5年自然学校



～職員より～

先日は『母の日』でしたね。皆様のご家庭にも、お子様の気持ちのこもったカーネーションが咲いていたのではないかと思います。

6・7年ほど前になるでしょうか、私の息子が小学校低学年だった頃、一緒に近所の花屋へカーネーションを買いに行きました。普段からたまに利用するのですが、母の日のプレゼントをこちらの店で買うのは初めてでした。息子は母親のためにカーネーションを選び、自分でレジへ。すると、支払いをしながら息子と話す店主さんの声が聞こえてきたのです。「坊主、この花を渡すとき何て言うんや？」息子は少し戸惑った後「いつも『ありがとう』…!」と答えます。「そうやで、この花よりもその『言葉』の方が何倍も嬉しいんやで。」

帰り道、いつもより少しペダルを強くこぎながら家へ向かう息子の表情を見て、花屋の店主さんの『言葉』に私は涙をこらえることができませんでした。まさか、花屋の店主が花よりも『言葉』の方が大切だと教えてくれるとは思ってもいなかったから。そして、その『言葉』が息子の心を成長へと導いたからです。

『言葉』は、誰もが使うことのできるツールです。しかし、使い方ひとつで相手を幸せにしたり、感動させたりすることができる『ステキな魔法』でもあるのです。国語や日々の生活を通じて、お子様方にそんな『言葉』の使い方を伝えていきたいですね♪

(5年担任)